


科目名	世界の中の日本A(地理)
科目名(英訳)	Japan in the World A (Geography)
科目ナンバー	HH134A03
詳細情報	授業外学修時間:週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	大塚 俊幸
単位数	2
開講学年	1年
開講セメスター	春期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択:HH
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 大塚 俊幸:月7-8
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	専門共通科目。地理学の特質や意義を理解するための基礎的な科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ②:◎
身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 豊かな教養 専門的知識・技能 国際的な視野

授業の主旨 (概要)	本講義では、系統地理学のアプローチにより、自然環境、環境問題、人口・都市問題、生活文化、経済活動といった地理的諸事象が世界でどのように展開されているかを学ぶとともに(豊かな教養)、それらの諸事象が発生している背景・要因について考える(専門的知識・技能)。また、他の国や地域との比較を通して、日本の自然環境や生活文化、経済活動などの特色を理解するとともに、世界の国々と日本とのかかわりについて考える(国際的な視野)。	
具体的 達成目標	1) 世界で起きているさまざまな地理的事象の内容と背景・要因について、地理学的観点から説明することができる(豊かな教養)。 2) 日本の自然環境や生活文化、経済活動等の特色を理解し、日本と世界の国々とのかかわりについて説明することができる(国際的な視野)。 3) 日本や世界が抱えている環境問題、人口問題、都市問題、社会・経済問題などの解決策を発生要因の地理的理解に基づいて考えることができる(専門的知識・技能)。	
	1	【内容】 第1講 はじめに(講義の内容と進め方、系統地理学のアプローチなど) 【授業外学習】 参考図書等を読んだうえで問題意識をもって受講する。 どの回の講義内容に関心を持ったか、その理由も含めて文章で簡潔にまとめる。
	2	【内容】 第2講 大地形と地震災害 【授業外学習】 テーマに関する参考図書等を読んだうえで問題意識をもって受講する。 地震はどのような国や地域で多く発生しているか、また日本ではなぜ地震が多いかについて文章で簡潔にまとめる。
	3	【内容】 第3講 気候区分と日本の気候 【授業外学習】 テーマに関する参考図書等を読んだうえで問題意識をもって受講する。 世界にはどのような気候が存在するか、また日本の気候の特色について文章で簡潔にまとめる。
	4	【内容】 第4講 世界の資源・エネルギー 【授業外学習】 テーマに関する参考図書等を読んだうえで問題意識をもって受講する。 鉱物資源はどの国や地域に多く埋蔵されているか、また日本のエネルギー事情について文章で簡潔にまとめる。
	5	【内容】 第5講 地球環境問題と日本 【授業外学習】 テーマに関する参考図書等を読んだうえで問題意識をもって受講する。 世界のどこで、どのような地球温暖化の影響が起きているかについて文章で簡潔にまとめる。

29 世界の中の日本 A (地理)

授業計画	6	【内容】	第6講 世界の人口			
		【授業外学習】	テーマに関する参考図書等を読んだうえで問題意識をもって受講する。 世界人口の動向と分布や、国・地域により抱える人口問題が異なるのはなぜかについて文章で簡潔にまとめる。			
	7	【内容】	第7講 日本の人口			
		【授業外学習】	テーマに関する参考図書等を読んだうえで問題意識をもって受講する。 日本の人口動向や、他の先進国との人口問題の違いについて文章で簡潔にまとめる。			
	8	【内容】	第8講 中間まとめ			
		【授業外学習】	これまでの受講内容を振り返り、疑問点については参考図書を読んで確認する。			
	9	【内容】	第9講 世界の都市問題			
		【授業外学習】	テーマに関する参考図書等を読んだうえで問題意識をもって受講する。 先進国と発展途上国との都市問題の違いとその背景、また日本の都市問題とその対策について文章で簡潔にまとめる。			
	10	【内容】	第10講 世界の人々の生活文化			
		【授業外学習】	テーマに関する参考図書等を読んだうえで問題意識をもって受講する。 世界の人種・民族・言語と宗教の種類と分布、また衣食住と気候との関係について文章で簡潔にまとめる。			
	11	【内容】	第11講 世界の農牧業			
		【授業外学習】	テーマに関する参考図書等を読んだうえで問題意識をもって受講する。 世界の農牧業の発達と分布や、主な農作物の生産地などについて文章で簡潔にまとめる。			
	12	【内容】	第12講 日本の食料事情			
		【授業外学習】	テーマに関する参考図書等を読んだうえで問題意識をもって受講する。 日本の食料自給率と主な食料の輸入元について文章で簡潔にまとめる。			
	13	【内容】	第13講 日本のインバウンド観光			
		【授業外学習】	テーマに関する参考図書等を読んだうえで問題意識をもって受講する。 どこから、何を目的に日本に観光にやってくるのかについて文章で簡潔にまとめる。			
14	【内容】	第14講 世界の工業				
	【授業外学習】	テーマに関する参考図書等を読んだうえで問題意識をもって受講する。 工業の発展過程、世界の工業地域、工業立地などについて文章で簡潔にまとめる。				
15	【内容】	第15講 まとめ				
	【授業外学習】	講義全体を振り返ってポイントを整理するとともに、講義を通して自分が考えたことを文章化する。				
授業方法	CoursePowerでプリントを配布し、講義形式で行う。また、できる限り受講生の発言機会を設け、理解度を確認しながら進める。					
成績の評価方法	確認テストなどにより総合的に評価する。なお、確認テストでは、世界や日本の地理的諸事象について理解ができているか、日本と世界の国々とのかわりについて表現する力が修得できているか、といった観点から出題する。					
成績の評価基準	確認テスト(100点満点)の得点が60点以上を合格とする。					
教科書						
参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『地理の教科書』	山崎圭一	SBクリエイティブ	1694	978-4-8156-1632-8
	2.	『教養としての地理』	山岡信幸	PHP	1630＋税	978-4-569-84710-8
	3.	『図説 世界の地誌【改訂版】』	辰己勝・辰己眞知子	古今書院	2800＋税	978-4-7722-4191-5
	4.	『地誌学概論(第2版)』	矢ヶ崎典隆・加賀美雅弘・牛垣雄矢編著	朝倉書店	3400＋税	978-4-254-16820-4
	5.	『世界の地域問題100』	漆原和子・藤塚吉浩・松山 洋・大西宏治編	ナカニシヤ出版	2700＋税	978-4-7795-1613-9
備考						

 関連 ホーム ページ	
 メール アドレス	大塚 俊幸 otsuka@fsc.chubu.ac.jp
 オフィス アワー	